



① 10月は交差点での歩行者事故が増加!!

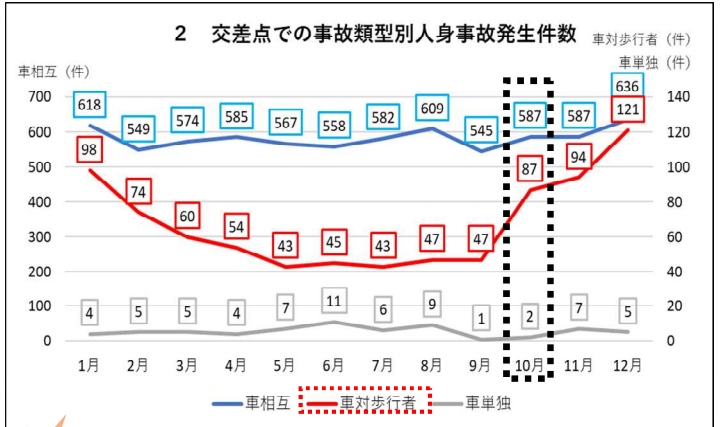
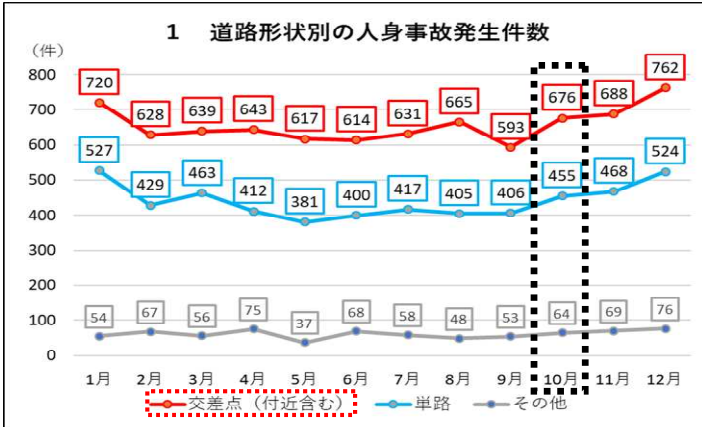
発生傾向

※交差点付近も含む
※薄暮時間帯とは日没時刻の前後1時間をいう

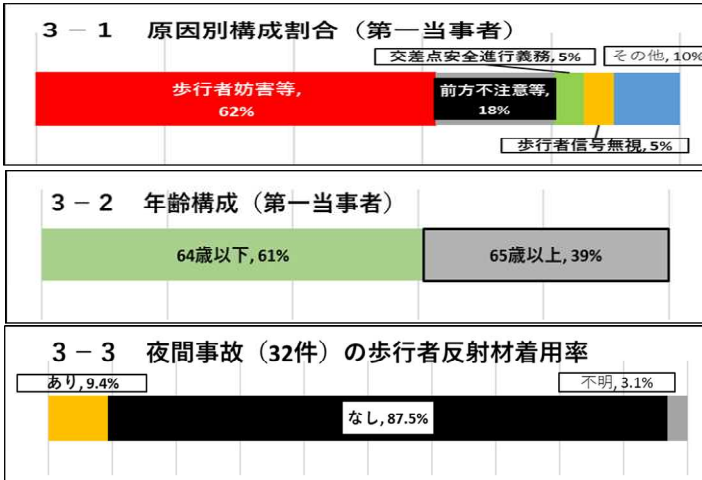
- 1 特に交差点での「車対歩行者」の事故が増加
- 2 原因別では横断歩道上における歩行者妨害が約6割
- 3 死傷した歩行者の約9割が反射材未着用



注) 図表は、過去5年の月別の累計件数



10月の交差点での「車対歩行者」事故 (87件) の主な特徴



増加の背景

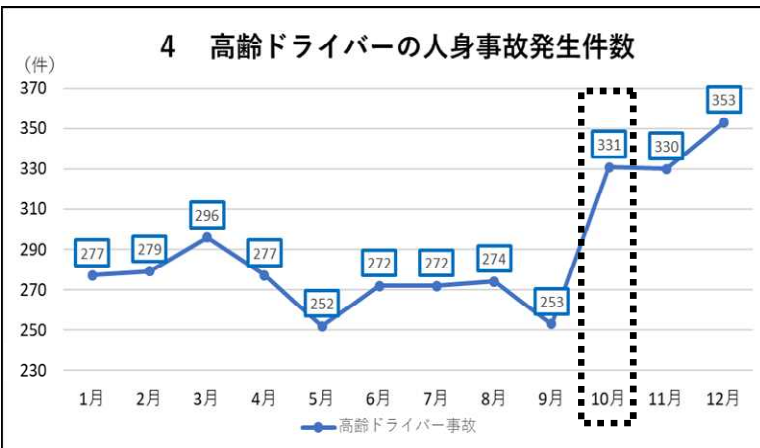
- ・日没時間の早まりに伴う見通しの低下
- ・マイカーの通勤時間帯と薄暮時間帯が重なることによる歩行者等の発見の遅れや見落とし

事故防止ポイント

- ・交差点での右左折時の歩行者の巻き込みに注意する。
- ・速度を抑制し、横断歩道での歩行者の早期発見のため「かもしれない運転」を実践する。
- ・歩行者は暗くなってからの外出は控え、外出の際は反射材を着用する。

② 高齢ドライバーの事故が増加!!

10月以降は高齢ドライバーによる事故が急増します。(交差点での「車対歩行者」事故の約4割は高齢ドライバー)



増加の背景

- ・加齢による身体機能の低下に伴う発見の遅れ

事故防止ポイント

- ・やわやわ運転(補償運転)を実践する。
- ・交差点での右左折時の歩行者の巻き込みに注意する。
- ・十分な車間距離の保持と速度抑制による安全運転を徹底する。